



# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 東大

上場会社名 燦ホールディングス株式会社  
コード番号 9628 URL <http://www.san-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古内 耕太郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大井 信三

TEL 06-6226-1716

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,436	4.4	1,274	82.2	1,256	83.2	651	171.7
23年3月期第3四半期	12,872	△2.4	699	7.9	686	15.5	239	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 651百万円 (171.7%) 23年3月期第3四半期 239百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	115.96	—
23年3月期第3四半期	42.67	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	25,569	19,357	75.7	3,446.29
23年3月期	25,022	18,930	75.7	3,370.32

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 19,357百万円 23年3月期 18,930百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
24年3月期	—	20.00	—		
24年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	3.4	1,610	37.0	1,580	36.6	810	67.4	144.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	6,082,008 株	23年3月期	6,082,008 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	465,247 株	23年3月期	465,212 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	5,616,781 株	23年3月期3Q	5,616,796 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
( 3 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
( 4 ) セグメント情報等 .....	8
( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然厳しい状況下にあるものの、緩やかながら回復を続けてまいりました。先行きにつきましては、景気の持ち直し傾向が継続すると期待される半面、電力供給の制約、欧州の政府債務危機等による海外経済の減速及び円高の進行など、不透明感がぬぐえない状況が続いております。

葬祭市場においては、葬儀の小型化傾向、葬儀単価の下落傾向が継続している一方、長期的に安定需要が見込まれているため、既存業者及び異業種からの参入業者間での競争が激化しております。また、葬儀に対する社会的関心も依然高まりを見せており、マスコミ、書籍、雑誌等で数多くの関連情報が取り上げられていることに加え、平成23年8月、経済産業省が『安心と信頼のある「ライフエンディング・ステージ」の創出に向けて』と題する報告書を発表するなど、葬儀業者の信頼性や葬儀費用の透明性等への注目度の高さが、一段と鮮明になってまいりました。このような環境の変化を的確にとらえ、当社グループは、サービスの向上に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間（以下、当期）の営業収益は134億36百万円（前年同四半期（以下、前年同期）比4.4%増）、営業利益は12億74百万円（前年同期比82.2%増）、経常利益は12億56百万円（前年同期比83.2%増）、四半期純利益は6億51百万円（前年同期比171.7%増）と、増収増益となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

#### 公益社グループ

公益社グループの中核会社である(株)公益社では、葬儀件数が前年同期比0.5%増加しました。この主な要因は、首都圏における葬儀件数が9.3%増加したことによります。また、葬儀単価は、平成22年6月下旬から葬儀における料理の取引形式を変更し手数料収入とした影響があるものの、前年同期比上昇しました。激化する競争環境にありながら、首都圏で継続的な件数増加を実現していることは、マーケティング戦略による受注チャネルの拡大、広範にわたる人材教育など、一連の施策の結果と考えられます。

平成23年11月には当期3番目の新規会館となる「公益社 学園前会館」を奈良市にオープンいたしました。今後も積極的な会館展開により、充実したサービスを提供してまいります。

また、2009年度に開始した第 期中期経営計画「成長のための基盤整備」における重要課題の一つである「グループ会社のマネジメント体制の見直し」の一環として、グループ全体最適の観点から、平成23年10月1日に関西自動車(株)及び(株)ユーアイを(株)公益社に吸収合併するとともに、同9月30日付けでエクセル・スタッフ・サービス(株)の人材派遣事業及び湯灌事業を廃止し、同10月1日より(株)公益社で湯灌事業を開始しました。この事業再構築により、グループの中核会社である(株)公益社のもと、一層の顧客へのサービス力強化と利益率向上を目指します。

葬儀後のサービス事業については、法事法要収入が前述の料理取引形式の変更により、前年同期比減収となりました。なお、この変更に伴う影響額を除くと、法事法要収入は実質的にはほぼ横ばいとなっております。仏壇仏具販売収入及び返礼品販売収入につきましては、ともに増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は112億32百万円（前年同期比4.0%増）となり、仕入コストなどの削減効果もあって、セグメント利益は6億9百万円（前年同期比209.8%増）となりました。

#### 葬仙グループ

葬仙グループの(株)葬仙におきましては、葬儀件数は受注が好調だった前年同期と比べて減少したものの、葬儀単価の上昇及びアフター販売の好調が、件数減による減収を一部補いました。

この結果、当セグメントの売上高は10億35百万円（前年同期比2.1%減）となり、セグメント損失は18百万円（前年同期は5百万円のセグメント利益）となりました。

#### タリイグループ

タリイグループの(株)タリイに関しましては、葬儀件数は競争激化の影響から前年同期と比べて減少したものの、葬儀単価の上昇により、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は9億65百万円（前年同期比5.1%増）となり、セグメント利益は1億84百万円（前年同期比41.9%増）となりました。

持株会社グループ

持株会社グループの燦ホールディングス(株)におきましては、主に、グループ各社からの配当収入が減少しましたが、BPR（業務の抜本的革新）の一環として保有土地を外部企業に賃貸したことにより、不動産収入が増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は32億37百万円（前年同期比2.0%増）となり、セグメント利益は9億24百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当期末における資産合計は255億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億47百万円増加しました。流動資産は37億42百万円となり、3億20百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が2億67百万円、営業未収入金が93百万円増加したためです。

固定資産は218億26百万円となり、2億26百万円増加しました。主な要因は、葬儀会館用地の取得、「公益社 住吉御影会館」及び「公益社 学園前会館」の開設により有形固定資産が5億42百万円増加した一方、のれんが1億55百万円減少したためです。

当期末の負債合計は62億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億20百万円増加しました。流動負債は27億45百万円となり、2億17百万円減少しました。主な要因は、未払法人税等が2億2百万円、賞与引当金が2億53百万円減少したためです。固定負債は34億67百万円となり、3億37百万円増加しました。主な要因は、新規の借入により長期借入金が3億33百万円増加したためです。

当期末の純資産合計は、193億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億26百万円増加しました。これは、主に利益剰余金が四半期純利益により6億51百万円増加した一方、配当金の支払により2億24百万円減少したためです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同率の75.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、当第3四半期の業績を勘案し、平成23年10月31日に公表した業績予想を上方修正いたしました。詳細につきましては、平成24年2月6日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,394,299	2,662,091
営業未収入金	420,913	514,905
商品及び製品	162,818	166,607
原材料及び貯蔵品	40,782	41,718
その他	405,213	359,285
貸倒引当金	1,636	1,855
<b>流動資産合計</b>	<b>3,422,391</b>	<b>3,742,752</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	7,708,546	7,544,075
土地	10,002,132	10,775,301
リース資産(純額)	204,155	193,626
その他(純額)	212,066	156,311
<b>有形固定資産合計</b>	<b>18,126,900</b>	<b>18,669,313</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,037,211	881,691
その他	242,002	210,898
<b>無形固定資産合計</b>	<b>1,279,214</b>	<b>1,092,589</b>
<b>投資その他の資産</b>		
長期貸付金	552,677	528,332
不動産信託受益権	557,544	510,332
差入保証金	663,049	657,036
その他	484,580	393,319
貸倒引当金	63,698	23,973
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>2,194,153</b>	<b>2,065,048</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>21,600,268</b>	<b>21,826,952</b>
<b>資産合計</b>	<b>25,022,659</b>	<b>25,569,704</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
営業未払金	600,672	615,921
短期借入金	300,000	311,674
1年内返済予定の長期借入金	612,853	662,000
リース債務	56,629	60,236
未払法人税等	364,848	161,968
賞与引当金	416,024	162,522
役員賞与引当金	40,200	33,750
その他	571,349	737,045
<b>流動負債合計</b>	<b>2,962,577</b>	<b>2,745,119</b>
<b>固定負債</b>		
社債	1,500,000	1,500,000
長期借入金	1,035,000	1,368,500
リース債務	157,733	143,034
退職給付引当金	21,082	22,822
資産除去債務	123,414	141,675
その他	292,478	291,550
<b>固定負債合計</b>	<b>3,129,709</b>	<b>3,467,583</b>
<b>負債合計</b>	<b>6,092,287</b>	<b>6,212,702</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,568,157	2,568,157
資本剰余金	5,488,615	5,488,615
利益剰余金	11,886,702	12,313,374
自己株式	1,013,103	1,013,146
<b>株主資本合計</b>	<b>18,930,372</b>	<b>19,357,002</b>
<b>純資産合計</b>	<b>18,930,372</b>	<b>19,357,002</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>25,022,659</b>	<b>25,569,704</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業収益	12,872,763	13,436,960
営業費用	10,826,048	10,858,664
営業総利益	2,046,715	2,578,296
販売費及び一般管理費		
役員報酬	237,916	228,665
給料	288,985	277,736
賞与	49,251	47,074
賞与引当金繰入額	19,462	20,171
役員賞与引当金繰入額	24,825	33,750
貸倒引当金繰入額	-	7,617
のれん償却額	155,520	155,520
減価償却費	14,398	47,045
その他	557,082	486,402
販売費及び一般管理費合計	1,347,440	1,303,984
営業利益	699,274	1,274,311
営業外収益		
受取利息	10,869	10,164
受取配当金	8	6
雑収入	24,557	17,518
営業外収益合計	35,436	27,688
営業外費用		
支払利息	44,580	38,452
雑損失	4,115	6,716
営業外費用合計	48,696	45,169
経常利益	686,014	1,256,830
特別利益		
固定資産売却益	-	81
貸倒引当金戻入額	1,934	-
役員賞与引当金戻入額	1,075	-
特別利益合計	3,009	81
特別損失		
固定資産除却損	678	21,409
リース解約損	-	890
投資有価証券評価損	-	2,199
移転損失	8,620	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,612	-
特別損失合計	35,911	24,499
税金等調整前四半期純利益	653,112	1,232,412
法人税、住民税及び事業税	289,382	429,089
法人税等調整額	124,041	151,977
法人税等合計	413,424	581,067
少数株主損益調整前四半期純利益	239,687	651,344
少数株主利益	-	-
四半期純利益	239,687	651,344

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	239,687	651,344
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	239,687	651,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239,687	651,344
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	10,774,648	1,057,237	918,476	122,401	12,872,763	-	12,872,763
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	23,431	-	-	3,050,741	3,074,173	3,074,173	-
計	10,798,079	1,057,237	918,476	3,173,143	15,946,936	3,074,173	12,872,763
セグメント利益	196,897	5,905	130,070	828,193	1,161,066	475,052	686,014

(注)1. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	金額
持株会社が連結子会社から受 け取った配当金の相殺消去額	320,000
のれん償却額	155,520
債権債務の相殺消去に伴う貸 倒引当金の調整額	468
合計	475,052

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	11,210,093	1,035,352	965,522	225,992	13,436,960	-	13,436,960
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	22,047	-	-	3,011,256	3,033,304	3,033,304	-
計	11,232,141	1,035,352	965,522	3,237,248	16,470,265	3,033,304	13,436,960
セグメント利益 又は損失( )	609,972	18,007	184,548	924,016	1,700,529	443,698	1,256,830

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	金額
持株会社が連結子会社から受 け取った配当金の相殺消去額	288,000
のれん償却額	155,520
債権債務の相殺消去に伴う貸 倒引当金の調整額	179
合計	443,698

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
記載すべき事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。